

Injury Alert (傷害速報) 類似事例

ジェルボール型洗剤の誤飲による肺炎(No.106 新しいタイプの洗剤(アロマディフューザーの液を誤嚥したことによる化学性肺炎の類似事例 2))

事例	基本情報	年齢：1歳 5か月 性別：女児 体重：10.2kg 身長：75cm
	家族構成	母(26歳)、父(27歳)、同胞なし
	発達・既往歴	なし
臨床診断名		誤嚥、肺炎
医療費		入院 85,658円 外来 590円
原因対象	対象名称	ジェルボール型洗濯洗剤
	入手経路 使用状況	発生2ヶ月前くらいに近隣のホームセンターで購入。普段使い。
発生状況	発生場所	洗面所においていた4段引き出し棚の最下段に保管していた。子ども用ストッパーをつけていたが粘着が弱くなっていた。引き出しの手前には柔軟剤のボトルを、その奥に今回誤飲したジェルボールの箱を置いていた。
	周囲の人 周囲の環境	洗面所に父、別室のリビングに母がいた。
	発生年月日	2021年6月X日(水) 午後2時30分頃
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	父が洗面所で髭剃り中に、児が父を追って洗面所にやってきた。気づくと児が引き出しに収納していた洗濯用洗剤を取り出しており、その中のジェルボール1つを口に運んでいた。1/3くらいの内容物がフィルムから出ていた。口腔内に残っていた洗剤を母が水で約5分間洗浄した。複数の医療機関に連絡したがつながらず、救急要請した。救急要請直前に、救急車内で2回の嘔吐を認めた。

医療機関受診時
以降の治療経過
転帰

医療機関病着時(午後 3 時)、意識清明で、体温 36.1℃、SpO₂ 90% 前後(室内気)、呼吸数 20 回/分、脈拍 159 回/分であった。口腔からは洗剤の香りがした。胸部聴診で rhonchi、stridor、wheeze を聴取した。静脈血液ガス pH 7.297、pCO₂ 45.4、HCO₃⁻ 21.5、BE -4.5。胸部単純 X 線で浸潤影は認めなかった。病着後も 3 回、胃内容物を嘔吐し、適宜気道分泌物と胃内容物の吸引が施行された。酸素需要と代謝性アシドーシスを認めたため、酸素投与下に入院した。

入院後は、酸素化は改善し、室内気で SpO₂ 95%以上を維持し、誤飲後約 5 時間後(午後 7 時 30 分)の静脈血液ガスは pH 7.358 に改善したが、誤飲後約 8 時間後(午後 10 時)に、37.9℃の発熱と吸気性喘鳴を認めた。胸部単純 X 線で右肺門部に浸潤影を認め、肺炎と判断し抗菌薬、ステロイドの静脈注射とアドレナリン吸入を開始した。翌日には解熱し、耳鼻科で咽頭・喉頭観察を行ったが異常所見はなかった。ステロイドの静注とアドレナリン吸入は計 2 日間投与し終了した。入院 6 日目に抗菌薬を内服に変更し、入院 7 日目退院した。抗菌薬は計 8 日間投与した。

退院 2 日目(受傷後 8 日目)の外来受診時も経過良好と判断され、終診となった。